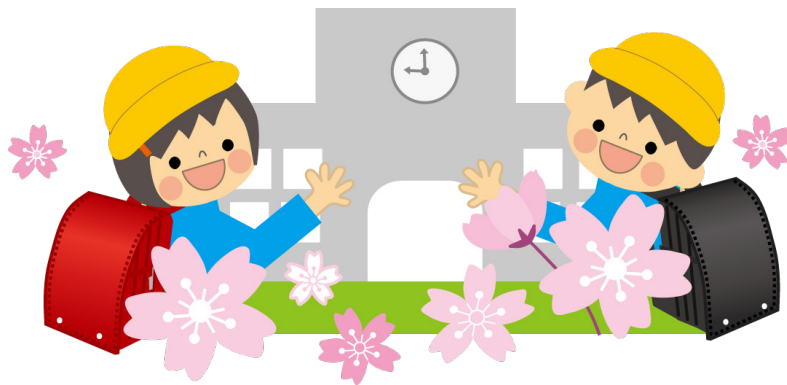




キラッと させぼっ子

保幼小連携
「接続カリキュラムガイドライン」

～保育所・幼稚園・認定こども園から小学校へ～



令和3年3月
佐世保市



目 次

佐世保市における保幼小連携について 1

1. 保幼小連携「接続カリキュラムガイドライン」作成について
2. 育ちと学びをつなぐ保幼小連携
3. 幼児教育と小学校以降の教育の特色
4. 接続期に保育者・教員の双方が意識したい配慮事項
5. 「育みたい資質・能力（3つの柱）」と
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」
6. 佐世保市における接続期の考え方
7. 佐世保市が目指す保幼小連携

佐世保市における「保幼小連携接続カリキュラム」～子どもの姿～ … 7

1. 「アプローチカリキュラム」と「スタートカリキュラム」
2. 子どもの育ちと学びをつなぐ（子どもの育ちをとらえよう）
3. 「アプローチカリキュラム」と「スタートカリキュラム」のつながり

「接続カリキュラム（佐世保版様式）」の作成について … 11

1. 「接続カリキュラム（佐世保版様式）」の作成にあたって
2. 「接続カリキュラム（佐世保版様式）」の作成の仕方
3. 「接続カリキュラム（佐世保版様式）」～乳幼児教育・保育施設の記入例～
4. 「接続カリキュラム（佐世保版様式）」～小学校の記入例～
5. 「接続カリキュラム（佐世保版様式）」（モデル案）





1. 保幼小連携「接続カリキュラムガイドライン」作成について

佐世保市は、平成 24 年に「保幼小連携接続カリキュラム」を作成し、保育所・幼稚園・認定こども園（以下、乳幼児教育・保育施設）と小学校及び義務教育学校（以下、小学校）の滑らかな接続を考え、互いに理解し見通しをもった教育・保育が進められるようにしました。その指針として、「佐世保市教育振興基本計画」及び「新させぼっ子未来プラン」があり、「幼児教育・保育の充実」「質の高い幼児教育・保育を提供できるまち」等の取組を示しています。

それ以降、社会の急激な変化に伴い、子どもに関する法令が改訂され、特に乳幼児教育・保育施設において施設形態が大きく変化してきています。このような環境の変化の中、本市におけるすべての乳幼児・児童が、その年齢においてふさわしい経験をし、小学校入学からそれ以降の生活や学習に生き生きと取り組むことができる環境づくりが必要です。そのために、保育者や教員が援助や指導を振り返り、改善や工夫をすることで、教育・保育の質の向上を図ることが求められています。

今般の保幼小に関する「小学校学習指導要領」と「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（以下、3 法令）の改訂の意図を参考にしながら、「保幼小連携接続カリキュラム」（平成 24 年度版）を見直し、各乳幼児教育・保育施設と各小学校が独自のカリキュラムを立てる際に活用できるように、新たに保幼小連携「接続カリキュラムガイドライン」（以下、「接続カリキュラムガイドライン」）を作成することとしました。

今後、各乳幼児教育・保育施設と各小学校がこの「接続カリキュラムガイドライン」を基に、それぞれの実情に合わせた柔軟性のある「接続カリキュラム」を作成し、カリキュラムについて保育者や教員が共通理解しながら、互恵性のある保幼小連携へとステップアップしていくことを願っています。

2. 育ちと学びをつなぐ保幼小連携

小学校学習指導要領と 3 法令の改訂では、幼児教育から高等学校教育までを見通して、子どもたちの「生きる力」となる資質・能力をじっくり育てていくことを目指し、「育みたい資質・能力（3 つの柱）」として示されています。保幼小・小中・中高の接続を図っていくためには、つなぎ目である接続期が大切であり、保幼小連携はその第一段階にあたります。

保幼小連携において育ちと学びをつなぐためには、乳幼児教育・保育施設で培われた「育ち」の姿を小学校と共有し、幼児期の「学びの芽生え」と小学校での「学び」の違いについて理解し、進めていくことが必要になります。

幼児期：学びの芽生え

- 楽しいことや好きなことを夢中になって遊ぶ中で、様々なことを吸収していく。
- 遊びを中心として、頭も心も体も動かして様々な対象と直接関わりながら、自らの好奇心や探求心など総合的に学びの芽生えを育てていく。
- 日々の生活経験に根差した遊びや他者との関わりを通して、日常生活の中で、様々な言葉や非言語によるコミュニケーションによって自らを豊かに表現する力を養う。

児童期：自覚的な学び

- 学ぶことについての意識があり、集中する時間とそうでない時間（休憩の時間等）の区別が付き、自分の課題の解決に向けて計画的に取り組む。
- 各教科等の学習内容や学校生活を通して、自らの好奇心や探求心を深め、自分の考えや思いを様々な方法を用いて自由に表現する力を養う。
- 主に授業の中で、話したり聞いたり、読んだり書いたり、一緒に活動したりすることで他者と関わり合う。

■ 幼稚園教育要領の保幼小接続に関する記述

幼稚園教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

（平成 29 年告示 幼稚園教育要領「第 1 章 総則、第 3 教育課程の役割と編成等、5 小学校教育との接続に当たっての留意事項」（2）より ※保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領にも同様の記述があります。）

■ 小学校学習指導要領の保幼小接続に関する記述

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。

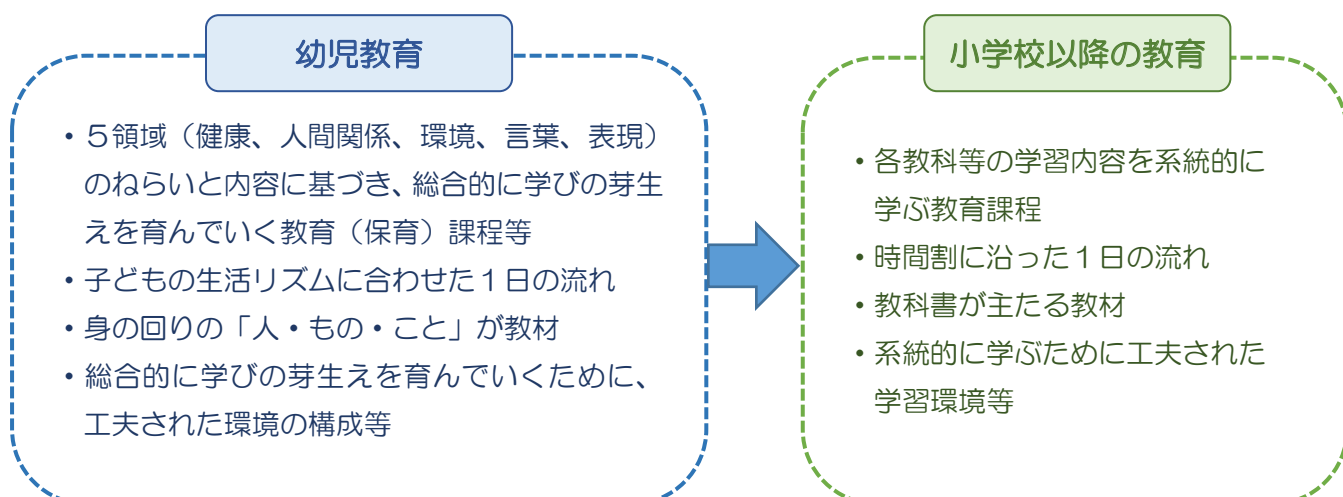
また、低学年における教育全体において、例えば生活科において育成する自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が、他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。

（平成 29 年告示 小学校学習指導要領「第 1 章 総則、第 2 教育課程の編成、4 学校段階等間の接続」（1）より）



3. 幼児教育と小学校以降の教育の特色

幼児教育と小学校以降の教育には、教育課程、生活の時間、教材、環境など次のような違いがあります。



4. 接続期に保育者・教員の双方が意識したい配慮事項

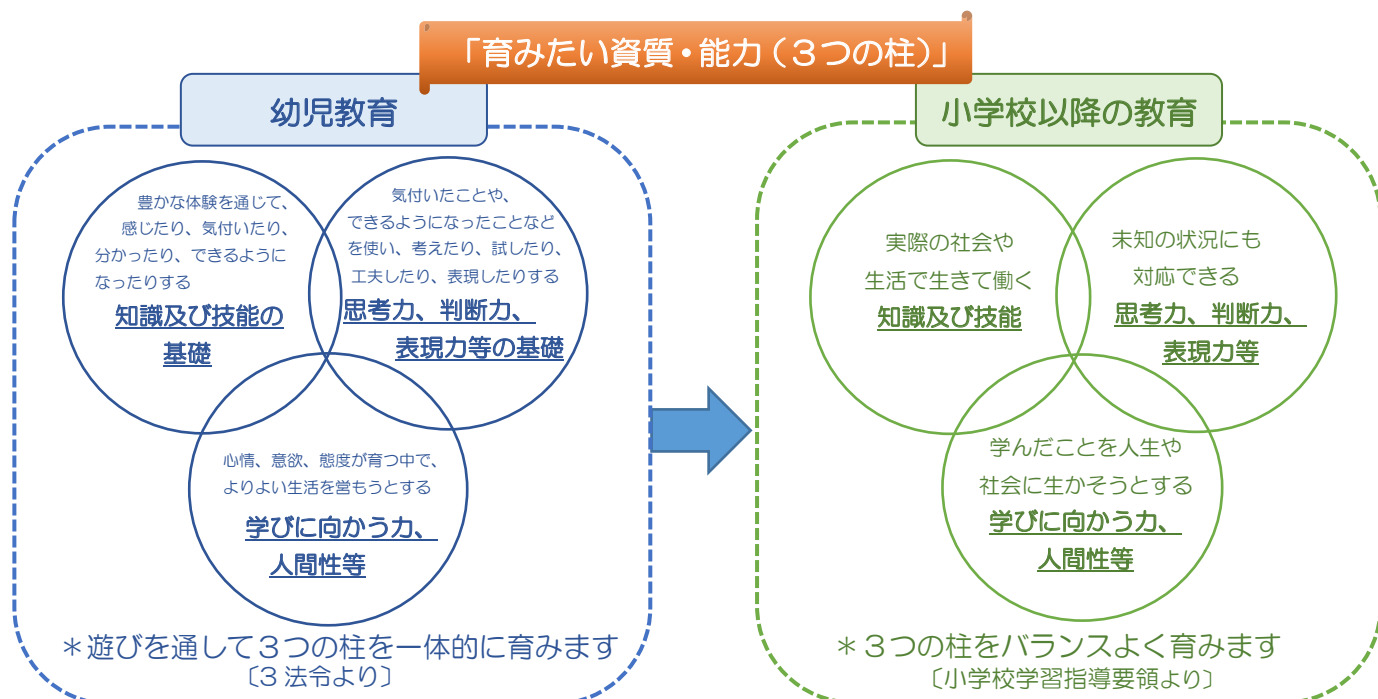
保育者・教員は、この時期の子どもの姿を理解し、援助のあり方を探っていくことが大切です。保育者・教員の双方が、円滑な接続に向けて特に意識したい3つの事項です。

<p style="text-align: center;">①</p> <p style="text-align: center;">子どもが表現しよう とすることを支える</p>	<p>①子どもの思いを先回りして言葉にせず、子ども自身や子ども同士で表現することを支えていくことが大切です。園生活において、自己表現を認め合う関係性をつくり、言葉や文章などの表現で判断していくことが多くなる小学校生活へとつなげていきます。</p>
<p style="text-align: center;">②</p> <p style="text-align: center;">共感的な関わりをす ることで、自己肯定 感を高める</p>	<p>②子どもの行動にすぐに介入せず、自力解決できるよう支えながら、子どもの思いに共感するようにします。そこから、自分で問題に向き合おうとする力を育て、自己肯定感を高めていくことが大切です。保育者や教員に共感されている安心感は、小学校生活への意欲につながります。</p>
<p style="text-align: center;">③</p> <p style="text-align: center;">夢中になることがで きる環境構成と教材 を見直す</p>	<p>③園生活は時間割のない緩やかな時間の流れですが、小学校では学習や活動は区切られた時間編成となります。園生活では、興味のあることに夢中になって遊びこむ経験を重ねることができるよう、環境構成や教材を見直していくことが大切です。この夢中になって遊びこんだ経験は、小学校で課題に集中する力につながります。</p>

5. 「育みたい資質・能力（3つの柱）」と

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」

乳幼児教育・保育施設は、幼児教育を行う施設として生涯にわたる生きる力の基礎を培うため、「育みたい資質・能力（3つの柱）」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」が、今回の3法令改訂により同じ文言で示され、小学校では、小学校学習指導要領に示されているように、生きる力を目指すにあたって、各教科等の指導を通して教育活動の充実を図っていく際に「3つの柱」を偏りなく実現できるようにすることが求められています。このように、保幼小の要領・指針等に「育みたい資質・能力」が位置づけられたことで、双方がより一層接続の基盤を整備していくために、各乳幼児教育・保育施設、各小学校、各地域の実情に合わせた「アプローチカリキュラム」と「スタートカリキュラム」を作成することが必要になります。



5領域（健康、人間関係、環境、言葉、表現）のねらい・内容に基づいて、各乳幼児教育・保育施設で、幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより育まれる具体的な姿が「幼児教育において育みたい資質・能力」として挙げられています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」

（1） 健康な心と体

園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

（2） 自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

（3） 協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

（4） 道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

（5） 社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気づき、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

（6） 思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気づき、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

（7） 自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気づき、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを意識するようになる。

(8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

(9) 言葉による伝え合い

先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

(10) 豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

「10の姿」を手掛かりとしながら 保幼小連携を具体的に進めていく際の留意事項

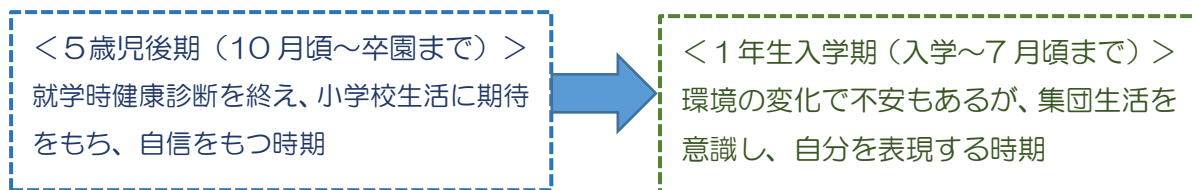
◇これらの姿は、幼児期に到達すべき目標や小学校における評価基準ではなく、自発的な活動としての遊びを通して、一人一人の発達の特性に応じて育てていくものであり、すべての幼児に同じように見られるものではないことに十分留意する必要があります。

◇幼児期の教育と小学校教育を接続するに当たっては、どちらか一方が他方に合わせるのではなく「10の姿」を手掛かりに保育者・教員の双方が子どもの姿を共有し、それぞれの発達の段階を踏まえた教育活動を充実させることが重要です。



6. 佐世保市における接続期の考え方

「保幼小連携接続カリキュラム」（平成 24 年度版）で示しておりましたように、接続期を5歳児（年長児）後半 10 月頃から卒園まで、小学校 1 年生入学後から 7 月頃までとしています。

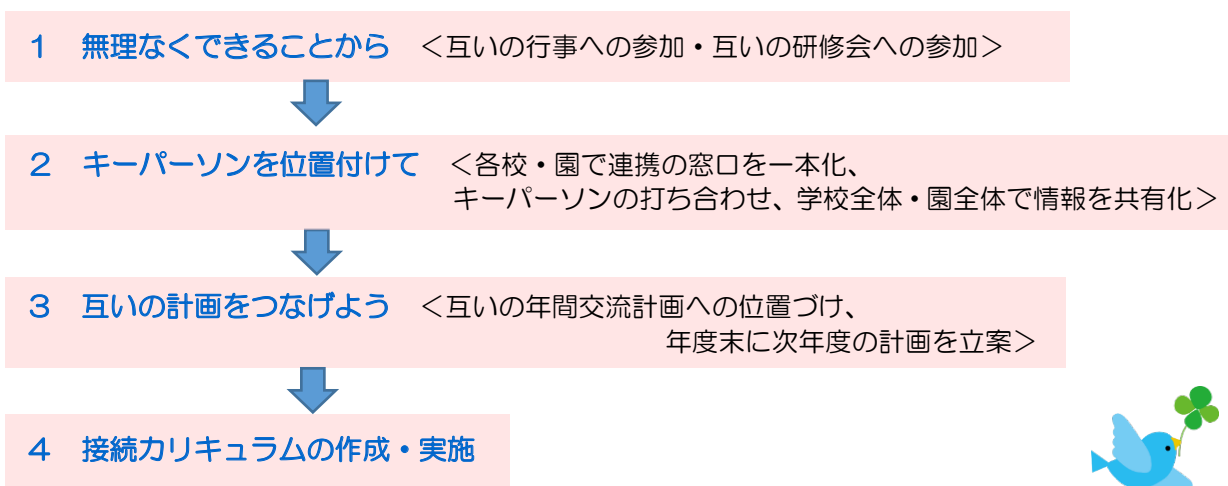


7. 佐世保市が目指す保幼小連携

佐世保市では、子どもの育ちを大切に、幼児教育から小学校教育への滑らかな接続を目指して、「保幼小連携接続カリキュラム」を平成 24 年に作成し、各施設で活用しながら進めてきました。

保幼小連携の進め方と段階表

保幼小連携 4 ステップ



保幼小連携段階表

第1段階	<p>（はじめの一步段階） 保幼小連携の啓発、近隣の施設・小学校の確認、研修会参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣の施設・小学校について、どのくらいの規模で、どこにあり、どのような方針で運営されているのか、何人卒園児(入学児童)がいるのか情報を共有し、職員の間を合わせる。
第2段階	<p>（交流段階） 保幼小連携の推進、連絡体制の確立、保育・授業参観、行事への招待</p> <ul style="list-style-type: none"> 保・幼・小互いの年間計画の中に、乳幼児、児童の保育・授業参観、行事への招待を取り入れ、子ども同士・教師間の交流活動を行う。
第3段階	<p>（互恵性を求めた連携段階/接続カリキュラム試行段階）</p> <p>保幼小連携の充実、互恵性のある連携活動、接続カリキュラムの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児・児童の双方にメリットがある互恵性のある連携活動を進めていくために、教師間での事前打ち合わせ、振り返り(評価)を行い、子どもの発達や学びの様子を把握し、接続カリキュラムの作成へとつなげていく。
第4段階	<p>（接続カリキュラム実施段階）</p> <p>保幼小連携の発展（評価・改善）、接続カリキュラムの作成・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3段階までの保幼小連携を見直し、今後の課題を見出していき、接続カリキュラムを作成し、実施していく。

佐世保市における「保幼小連携接続カリキュラム」～子どもの姿～

1. 「アプローチカリキュラム」と「スタートカリキュラム」

「保幼小連携接続カリキュラム」（平成24年度版）においては、子どもの姿を3つの視点、「生活する」「かかわる」「学ぶ」から捉えており、その視点から家庭版リーフレットにおいても子どもたちが遊びを通して育つ具体的な姿を示していました。今回も、その考え方を引き継ぎ、佐世保市が目指す子どもの姿を子ども目線でまとめています。

「アプローチカリキュラム」のねらい

生活する姿

☆やってみよう

- たくさん体を動かそう！
- なんでもやってみよう！
- みんなで協力しよう！
- 体をおもいっきり動かして遊ぶ
- 食べることを楽しむ
- 時間の見通しをもって動く
- いろいろなことに挑戦する
- 遊んだ後の片づけをする
- 考えたことを相手に分かるように伝える



「スタートカリキュラム」のねらい

★もっとやってみよう

- 安全で健康に過ごす
- 給食を楽しく食べる
- 時間割にそって動く
- 自分でしようとする
- 整理整頓をしようとする
- 先生や友達と協力して生活する

かかわる姿

☆話してみよう

- 友達の気持ちを考えよう！
- たくさん話をしよう！
- いろいろな人とかかわろう！
- きまりを作ったり守ろうとしたりする
- よいこととわるいことがわかる
- 気持ちの折り合いをつける
- 絵本や言葉のやりとり（会話）を楽しむ
- あいさつや返事をする
- 身近な人といろいろな経験をする



★たくさん話そう

- きまりや約束を守る
- 自分のふるまいを振り返って行動する
- 自分の気持ちを調整して過ごす
- その場に合ったあいさつをする
- 自分の思いや考えを言葉で伝え、先生や友達との関係を築く
- 相手の状況や気持ちを考えながら、いろいろな人とのかかわりを楽しむ

学びに向かう姿

☆考えてみよう

- 身近な自然にふれよう！
- いろいろな表現をしよう！
- 工夫や予想をし、考えてみよう！
- 文字や数字などに親しもう！
- 自然や季節の変化に気づく
- 動物や植物を大切にする
- 自分が感じたことを表現する
- 興味・関心をもち、新たな発見をする
- 友達と考えを出し合う
- 身近な数字や文字に親しみをもつ



★考えをひろげよう

- 自然について理解を深め、生命あるものをいたわり、大切にする
- 自信をもって表現し、意欲的に取り組む
- 学校生活や学習に興味や関心をもち、主体的にかかわる
- 問題を解決しようとする
- 学んだことを生活の中で活用する

2. 子どもの育ちと学びをつなぐ（子どもの育ちをとらえよう）

☆いっぱいあそぼう（乳幼児教育・保育施設での生活）

友達と一緒に調べたり、試したり、工夫したり、表現したり、協力したりしながら、夢中になって遊ぶ中で学びの根っこを育みます。（やってみよう）（話してみよう）（考えてみよう）

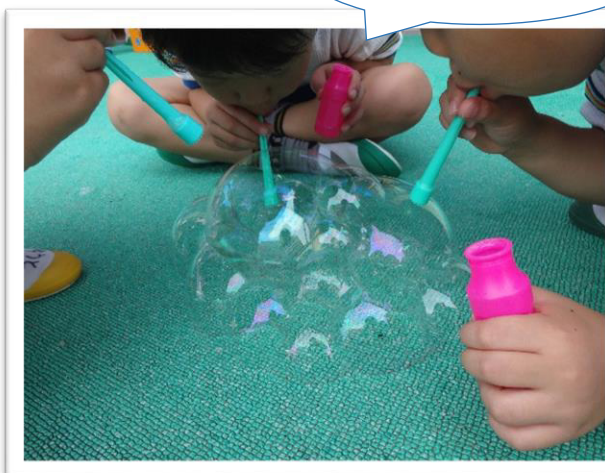
さんぽ

これ、何かな？
しらべてみよう！



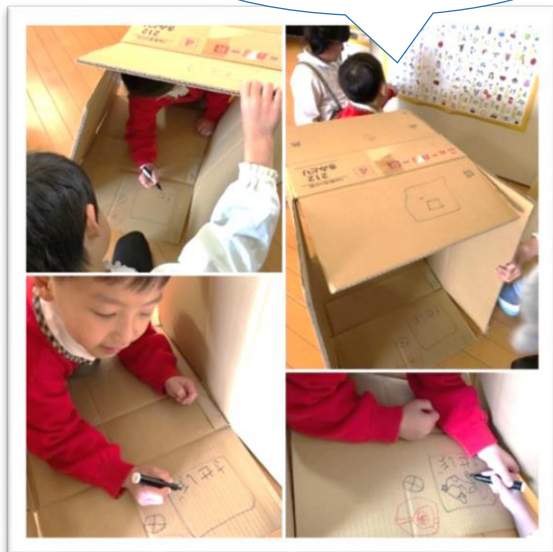
しゃぼん玉

そっとふいたら
つながる、つながる～



ダンボールの車

地図かきたいな！
させぼの“ぼ”ってどう書くの？
あ、わかった☆



ごっこ遊び

これをかぶるとパワー全開！
ヘーンション!!



カレー作り

そ～っとやさしく
おいしくな～れ♡



砂場あそび

水、ながすよ～！



いいよ！
こっちはだいじょうぶ

☆がっこうだいすき（小学校での生活）

入学当初は、幼児期に親しんだ活動を行うことで、子どもは安心して小学校生活に馴染んでいきます。（もっとやってみよう）（たくさん話そう）（考えをひろげよう）

絵本の読み聞かせ



むかし、むかし…

6年生との交流



一緒にがんばろうね！

うん！

一緒に運動会

いのちを見つめる強調月間



友達の気持ちを考えよう
～みんながハッピーになるには～

国語



～みんなで一緒に読んでみよう～

給食



おかわりください！

算数

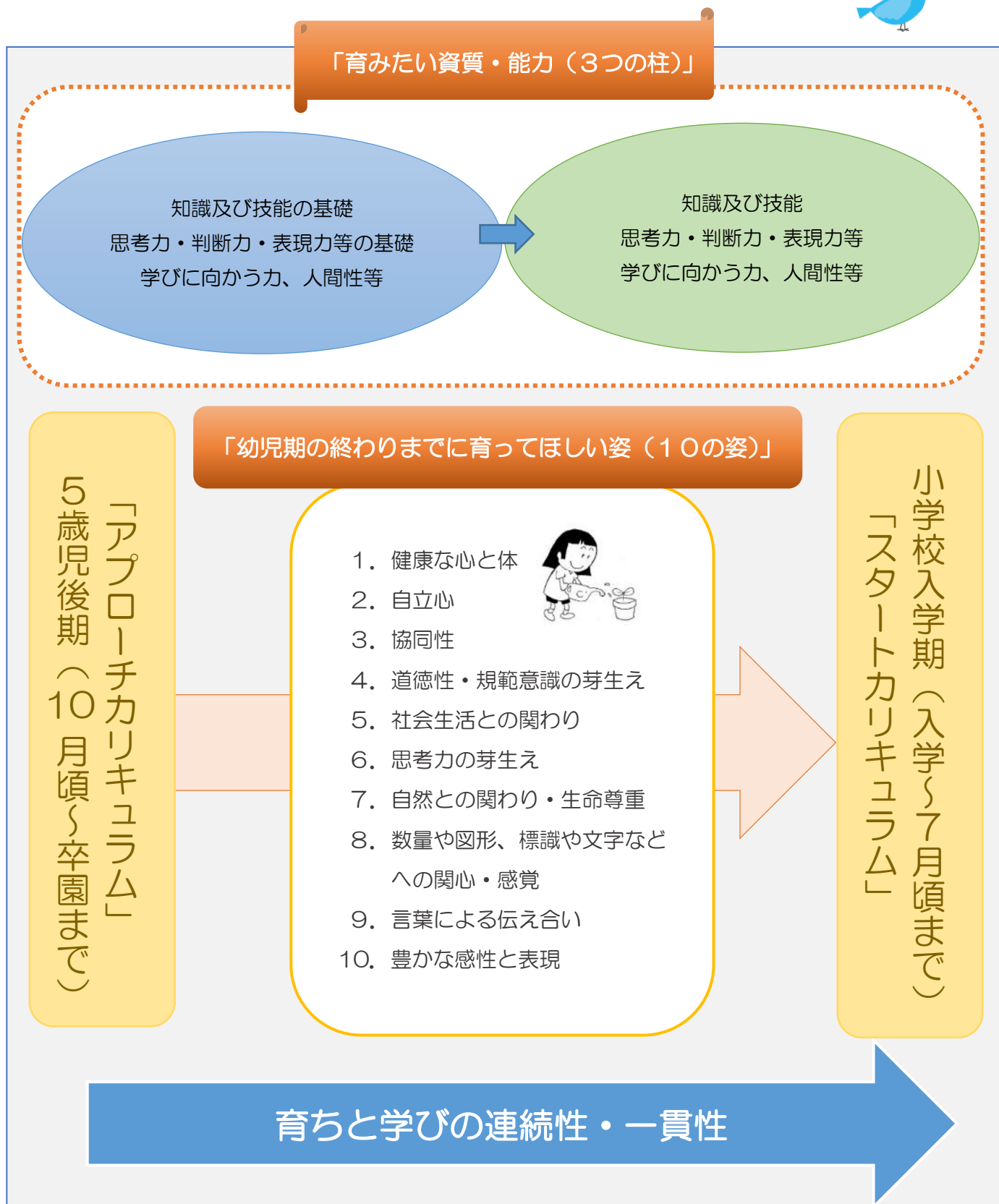


高く積み上げられるかな？

どんな形になるかな？

～物の形について考えよう～

3. 「アプローチカリキュラム」と「スタートカリキュラム」のつながり



「接続カリキュラム（佐世保版様式）」
の作成について

1. 「接続カリキュラム（佐世保版様式）」の作成にあたって

目指す保幼小連携（6頁）のところで示しましたように、佐世保市ではこれまで保幼小連携段階表の4段階を目指して保幼小連携に取り組んできました。施設長会や担当者会では、「交流活動はしているが互恵性のある連携へ進んでいくのは難しい。」「2段階から3段階への壁は高い。」などの意見がありました。

保幼小連携をステップアップしていくためには、各乳幼児教育・保育施設と各小学校が「接続カリキュラム」を作成し、担当者会等において、子どもの姿の共有と互いの教育を理解し合うことを通して、滑らかな接続へつなげていくことが必要です。また、保育者や教員が、この「接続カリキュラム」を作成し活用することで、援助や指導を振り返り、改善や工夫をし、教育・保育の質の向上につながると考えます。

そこで、各乳幼児教育・保育施設と各小学校において「アプローチカリキュラム」と「スタートカリキュラム」の作成が可能になるように「接続カリキュラム（佐世保版様式）」を提示することにしました。

「アプローチカリキュラム」と「スタートカリキュラム」の作成目的

子どもの姿の共有と互いの教育を理解して、滑らかな接続へつなげていく

2. 「接続カリキュラム（佐世保版様式）」の作成の仕方

各乳幼児教育・保育施設と各小学校で作成する指導計画は、それぞれの方針、地域、施設、園児・児童の実態により違いがあると思いますが、乳幼児教育・保育施設から小学校へ、見通しを持ったカリキュラムになるように「アプローチカリキュラム」から「スタートカリキュラム」への連続性を考え、参考例を示しています。

「接続カリキュラム（佐世保版様式）」

（モデル案）

	5歳児後期（接続期 10月～3月）	小学校1年生（接続期 4月～7月）
① 育	生きる力の基礎	生きる力
① 能力	<p>「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」</p> <p>五領域 【健康・人間関係・環境・言葉・表現】</p> <p>遊びを通した総合的な学び・無自覚な学び</p>	<p>「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」</p> <p>教科 【国語・算数・生活科・音楽・図画工作・体育・道徳】</p> <p>教科等を通した学び・自覚的な学び</p>
② 接続時期	アプローチカリキュラム	スタートカリキュラム
②	<p>やってみよう たくさん体を動かそう！ なんでもやってみよう！ みんなで協力しよう！</p> <p>話してみよう 友達気持ちを考えてよう！ たくさん話しよう！ いろいろな人とかかわろう！</p> <p>考えよう 身近な自然にふれよう！ いろいろな表現をしよう！ 工夫や予想をし、考えてみよう！ 文字や数字などに親しもう！</p>	<p>もっとやってみよう</p> <p>たくさん話そう</p> <p>考えをひろげよう</p>
③-A	【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】	【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】
④-A	共通のイメージで表現遊び等 協力し合って集団遊び、こっこ遊び、共同製作等	安心 安心を作る時間 （幼児期に親しんだ活動や分かりやすい学びやすい環境）
⑤-A	子どもが表現しようとすることを支える 共感的なかかわりで自己肯定感を高める 夢中になれることができる環境構成と教材を見直す	成長 自分の持っている力を発揮したり、自信や意欲が生まれたりする （幼児期からの育ちを生かす活動や環境）
⑥-A	授業参観・保幼小連携担当者会・要録送付・卒業式、入学式に参加・情報交換 1年生との交流・他学年との交流	自立 夢や希望を持ち、前向きに生活していく （子ども主体の学習活動）
③-B	明日も学校に行きたいな！ 一人でできるようになったよ！ やりたいことにチャレンジするぞ！	③-B
④-B	・体をおもいっきり動かし遊ぶ ・食へることを楽しむ ・時間の見通しをもっと動く ・いろいろなことに挑戦する ・遊んだ後の片づけをする ・考えたことを相手に分かるように伝える	④-B
⑤-B	・きまりを作ったり守ろうとしたりする ・よいことわるいことがわかる ・気持ちの折り合いをつける ・絵本や言葉のやりとり（会話）を楽しむ ・あいさつや返事をする ・身近な人といろいろな経験をする	⑤-B
⑥-B	・自然や季節の変化に気づく ・動物や植物を大切にすること ・自分が感じたことを表現する ・興味・関心をもち、新たな発見をする ・友達と考えを出し合う ・身近な数字や文字に親しみをもつ	⑥-B
⑦	・子どもが表現しようとすることを支える ・共感的なかかわりで自己肯定感を高める ・夢中になれることができる環境構成と教材を見直す	⑦
⑧	・授業参観・保幼小連携担当者会・要録送付・卒業式、入学式に参加・情報交換 1年生との交流・他学年との交流	⑧
⑨	・家族と一緒に過ごす時間を大切にしよう ・その子らしさを大切にしよう	⑨

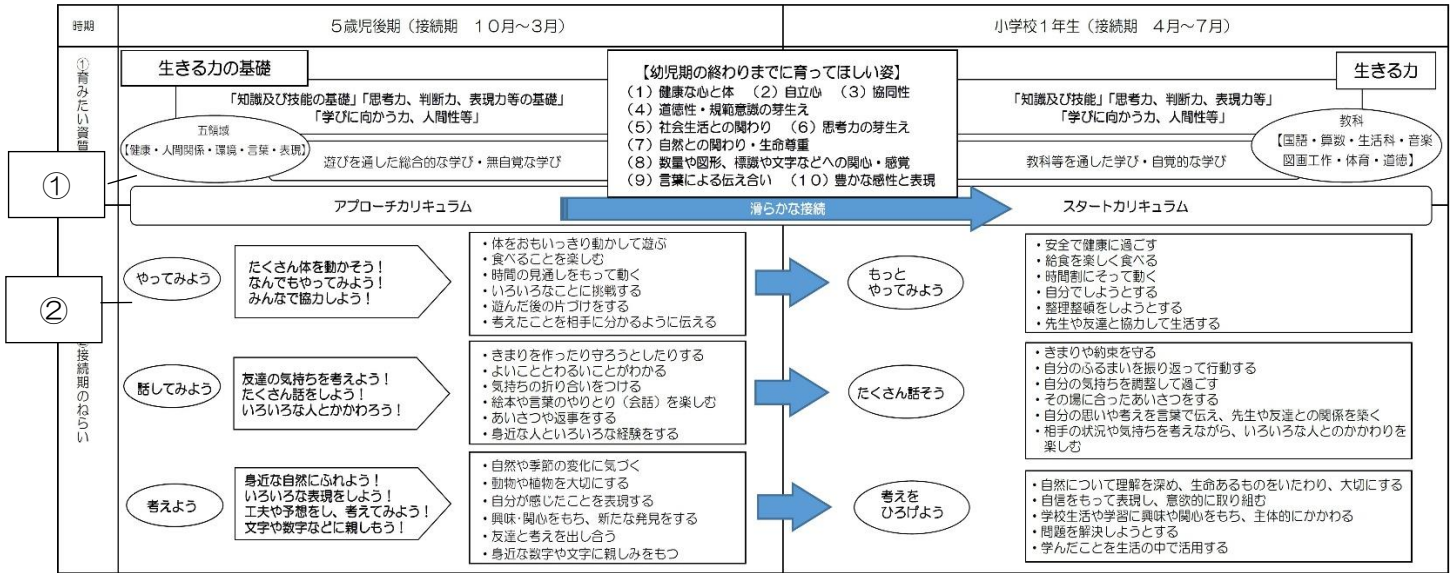
(1) 共通部分（佐世保市統一事項）

① 育みたい資質・能力

「資質・能力（3つの柱）」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい（10の姿）」（3頁～5頁）

② 接続期のねらい

佐世保市が目指す接続期の子ども姿です。（7頁）



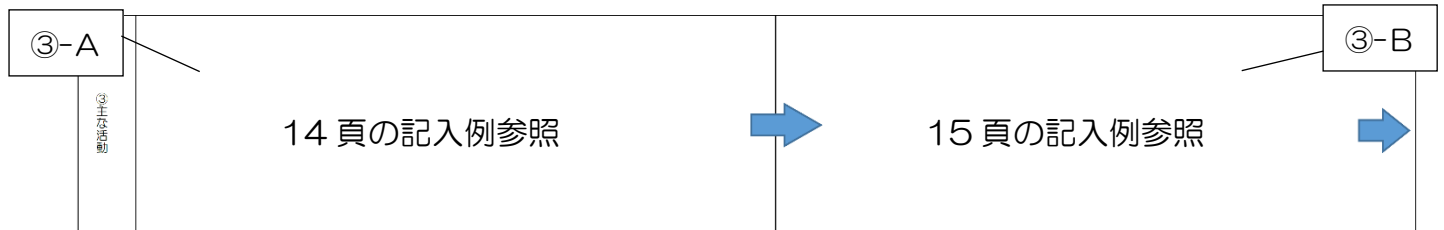
(2) 各乳幼児教育・保育施設、各小学校で記入する部分

全体的に共通する②「接続期のねらい」に示してある項目を参考としながら作成します。

③ 主な活動

③-A…5歳児後期（接続期）に行う主な活動を具体的に記入します。（各乳幼児教育・保育施設で記入）

③-B…小学校1年生が接続期に行う主な活動を具体的に記入します。（各小学校で記入）



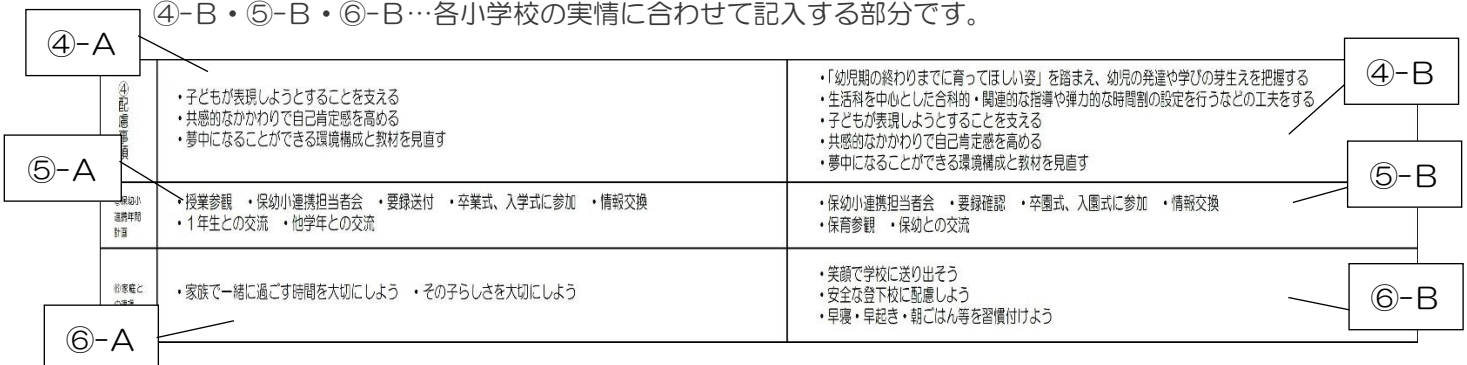
④ 配慮事項

⑤ 保幼小連携年間計画

⑥ 家庭との連携

④-A・⑤-A・⑥-A…各乳幼児教育・保育施設の実情に合わせて記入する部分です。

④-B・⑤-B・⑥-B…各小学校の実情に合わせて記入する部分です。



※上記の「接続カリキュラム（佐世保版様式）」には「モデル案」を記載していますが、各乳幼児教育・保育施設、各小学校の実情に合わせて変更可能です。

3. 「接続カリキュラム（佐世保版様式）」～乳幼児教育・保育施設の記入例～

（施設名： ）

時期	5歳児後期（接続期 10月～3月）	小学校1年生（接続期 4月～7月）
①育みたい資質・能力	<p>生きる力の基礎</p> <p>「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」 「学びに向かう力、人間性等」</p> <p>五領域 【健康・人間関係・環境・言葉・表現】</p> <p>遊びを通した総合的な学び・無自覚な学び</p>	<p>生きる力</p> <p>「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」 「学びに向かう力、人間性等」</p> <p>教科 【国語・算数・生活科・音楽 図画工作・体育・道徳】</p> <p>教科等を通した学び・自覚的な学び</p>
②接続期のねらい	<p>アプローチカリキュラム</p> <p>【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】 (1) 健康な心と体 (2) 自立心 (3) 協同性 (4) 道徳性・規範意識の芽生え (5) 社会生活との関わり (6) 思考力の芽生え (7) 自然との関わり・生命尊重 (8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 (9) 言葉による伝え合い (10) 豊かな感性と表現</p>	<p>スタートカリキュラム</p>
③主な活動	<p>③-A 下記の記入例参照</p>	<p>安心 安心を作る時間 (幼児期に親しんだ活動 や分かりやすく学びやすい環境)</p> <p>成長 自分の持っている力を 発揮したり、自信や意欲 が生まれたりする (幼児期からの育ちを 生かす活動や環境)</p> <p>自立 夢や希望を持ち、 前向きに生活していく (子ども主体の 学習活動)</p>
④配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが表現しようとすることを支える 共感的なかわりて自己肯定感を高める 夢中になることができる環境構成と教材を見直す 	<ul style="list-style-type: none"> 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、幼児の発達や学びの芽生えを把握する 生活科を中心とした総合的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫をする 子どもが表現しようとすることを支える 共感的なかわりて自己肯定感を高める 夢中になることができる環境構成と教材を見直す
⑤関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観・保幼小連携担当者会・要録送付・卒業式、入学式に参加・情報交換 1年生との交流・他学年との交流 	<ul style="list-style-type: none"> 保幼小連携担当者会・要録確認・卒園式、入学式に参加・情報交換 保育参観・保幼との交流
⑥家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> 家族と一緒に過ごす時間を大切にしよう その子らしさを大切にしよう 	<ul style="list-style-type: none"> 笑顔で学校に送り出そう 安全な目下校に配慮しよう 早寝・早起き・朝ごはん等を習慣付けよう

《③-A 5歳児記入例1》

《③-A 5歳児記入例2》



5歳児後期（接続期 10月～3月）

お散歩しよう
共通のイメージをもつ
自然物に興味を持つ

作戦を考えよう
探検ごっこをしよう
調べたり、試したり、確かめたりする
思いや考えを出し合う

地図を作ろう
ダンボールの車を作ろう
卒園式をしよう
自信をもつ
園生活をふりかえる

カレーを作ろう
協力しあう
自分の力を発揮する

5歳児後期（接続期 10月～3月）

友達と一緒にあそぼう
話を聞こう
考えを伝えよう
話し合おう

遊戯会をしよう
共通のイメージをもつ
うたう、踊る、役になる

作ってみよう
空箱製作
共同製作

自分のことは自分でできる
小さい子のお世話をする
当番活動

身体を動かそう
ドッチボール・サッカー・マラソン
鬼ごっこ・なわとび・こままわし

修了への準備をしよう
園生活をふりかえる、お別れ会
まわりの人への感謝
小学校を楽しみにする

おさんぽしよう
虫さがし
図鑑や絵本をみる

春の花の種まきをする
野菜植え
生活を楽しくする

《③-A 5歳児記入例3》

《③-A 5歳児記入例4》

5歳児後期（接続期 10月～3月）

元気いっぱい！
話し合おう！

身体を動かそう
ドッチボール、サッカー、マラソン、鬼ごっこ、なわとび、こままわし等

友達と一緒にあそぼう
廃材製作・お店屋さんごっこ、ままごと、積木等

自然と触れ合おう
虫さがし・木の葉拾い、さんぽ・花や野菜の種まき等

行事を楽しもう
遊戯会・クリスマス、お正月・節分等

卒園への準備をしよう
お別れ会・卒園制作・卒園式等

調べてみよう！
考えてみよう！
できるよ！
ありがとう！
もうすぐ1年生！

5歳児後期（接続期 10月～3月）

園の年間テーマ「お友達と一緒に」

一緒にやってみよう
ルールのある遊びを
共同製作を
行事でのチームプレイを
お当番活動を
学校体験活動を

みんなと話そう
朝の会や帰りの会で
行事などのチームで
ピーステーブルで
子ども会議で

一緒に考えよう
遊びの中で
園生活の中で
チームプレイの作戦会議で
ピーステーブルで

※ピーステーブルとは、友達同士でけんかになった時、トラブルでイライラした時、心を静めて話し合うテーブルです。

4. 「接続カリキュラム（佐世保版様式）」～小学校の記入例～

(学校名:)

時期	5歳児後期（接続期 10月～3月）	小学校1年生（接続期 4月～7月）
①育みたい資質・能力	生きる力の基礎 「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」 「学びに向かう力、人間性等」 五領域 【健康・人間関係・環境・言葉・表現】 遊びを通した総合的な学び・無自覚な学び	生きる力 「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」 「学びに向かう力、人間性等」 教科 【国語・算数・生活科・音楽 図画工作・体育・道徳】 教科等を通した学び・自覚的な学び
②接続期のねらい	アプローチカリキュラム やってみよう たくさん体を動かそう！ なんでもやってみよう！ みんなで協力しよう！ 話してみよう 友達の気持ちを考えてよう！ たくさん話をしよう！ いろいろな人とかかわろう！ 考えよう 身近な自然にふれよう！ いろいろな表現をしよう！ 工夫や予想をし、考えてみよう！ 文字や数字などに頼らなそう！	スタートカリキュラム もっと やってみよう たくさん話そう 考えを ひろげよう
③主な活動	調べたり、試したり、確かめたり 様々なことへの興味、関心、発見等 目標をもって様々なことへの意欲、挑戦等 園生活のしめくり 自信、期待、見通しをもって等 共通のイメージで表現遊び等 協力し合って集団遊び、こっこ遊び、共同製作等 自分の力を発揮して役割を持った活動等 思いや考えを出し合ってルールを決める、折り合いをつける等	各校の実情に合わせて作成します。 ③-B 下記の記入例参照
④配慮事項	・子どもが表現しようとすることを支える ・共感的なかわりて自己肯定感を高める ・夢中になることができる環境構成と教材を見直す 各校の実情に合わせて変更可能です。	・「幼児期の終わりにまでに育ってほしい姿」を踏まえ、幼児の発達や学びの芽生えを把握する ・生活科を中心とした総合的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫をする ・子どもが表現しようとすることを支える ・共感的なかわりて自己肯定感を高める ・夢中になることができる環境構成と教材を見直す
⑤学校が連携する機関	・授業参観・保幼小連携担当者会・要録送付・卒業式、入学式に参加・情報交換 ・1年生との交流・他学年との交流	・保幼小連携担当者会・要録確認・卒園式、入学式に参加・情報交換 ・保育参観・保幼小の交流
⑥家庭との連携	・家族と一緒に過ごす時間を大切にしよう・その子らしさを大切にしよう	・笑顔で学校に送り出そう ・安全な登下校に配慮しよう ・早寝・早起き・朝ごはん等を習慣付けよう

≪③-B 小学校1年生記入例1≫

≪③-B 小学校1年生記入例2≫

1年生（接続期 4月～7月）

安心
 【国語】
 ・みなさんよろしくね
 【生活】
 ・春を探そう

成長
 【音楽】
 ・リズムで楽しく遊ぼう
 【生活】
 ・アサガオを育てよう

自立
 【生活】
 ・学校を探検しよう
 【国語】
 ・探検したことを発表しよう

≪③-B 小学校1年生記入例3≫

1年生（接続期 4月～7月）

安心
 4月
 【学級活動】
 ・学校に慣れよう
 【生活科】
 ・がっこうだいすき
 あいうえお
 【道徳】
 ・ようこそ 1ねんせい
 ・じゅぎょうが はじまりますよ
 【国語】
 ・あつまって はなそう
 どうぞ よろしく

成長
 5月
 【学級活動】
 ・小学生になった自分を見つめよう
 【生活科】
 ・いくぞ！がっこう
 たんけんたい
 【道徳】
 ・あいさつ
 【国語】
 ・ききたいな ともだちのはなし

自立
 6～7月
 【学級活動】
 ・力を合わせて楽しい学級をつくろう
 【生活科】
 ・あそびばにでかけよう
 【道徳】
 ・みんな いっしょ
 【国語】
 ・すきなもの なあに

≪③-B 小学校1年生記入例4≫

1年生（接続期 4月～7月）

安心
 1年生になったよ（生活科）
 ※登校してからの身仕度
 ※トイレの使い方
 ※学校たんけん 等
 何て言おうかな（国語）
 ※話し方・聞き方

成長
 遊び場へでかけよう（生活科）
 ※公園たんけん 等
 掃除・給食・係活動（学級活動）
 運動会（体育・学校行事）
 ※走・跳の運動遊び
 ※表現・リズム遊び

自立
 遊びをつくらう（生活科）
 夏となかよし（生活科）
 音読発表会（国語）

1年生（接続期 4月～7月）

伝え合う場
 友だちとの協力

活動の楽しさの体験

幼稚園・保育所、家での経験

自由な表現

どきどきわくわく1年生【はじめての歩】

【国語・生活・音楽】 みんなと楽しく・学校に行こう

【音楽】
 ○うたで仲良しになろう
 ○友だちと仲良く歌おう
 【国語】
 ○すきなものをいっばい
 ・自分の顔をかく
 ・好きなものをかいて紹介しよう
 ○みてみて いっばいあったよ
 ・すきなものをいっばいあったよ
 【道徳】
 ○たのしい学校
 ・みんなで仲良くしよう
 【行事】
 ○1年生を迎える会
 ・上級生と仲良くなろう

5. 「接続カリキュラム（佐世保版様式）」

（モデル案）

<p>時期</p>	<p>5歳児後期（接続期 10月～3月）</p>	<p>小学校1年生（接続期 4月～7月）</p>
<p>①育みたい資質・能力</p>	<p>生きる力の基礎</p> <p>五領域 【健康・人間関係・環境・言葉・表現】 遊びを通して総合的な学び・無自覚な学び</p> <p>「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」 「学びに向かう力、人間性等」</p>	<p>生きる力</p> <p>【知識及び技能】「思考力、判断力、表現力等」 「学びに向かう力、人間性等」</p> <p>教科 【国語・算数・生活科・音楽 図画工作・体育・道徳】</p> <p>教科等を通して学び・自覚的な学び</p>
<p>②接続期のねらい</p>	<p>アプローチャカリキュラム</p> <p>滑らかな接続</p> <p>やってみよう たくさん体を動かそう！ なんでもやってみよう！ みんなで協力しよう！</p> <p>話してみよう 友達のことを考えよう！ たくさん話をしよう！ いろいろな人がかかわろう！</p> <p>考えよう 身近な自然にふれよう！ いろいろな表現をしよう！ 工夫や予想をしよう！ 文字や数字などに頼らう！</p>	<p>スタートカリキュラム</p> <p>もっとやってみよう</p> <p>たくさん話そう</p> <p>考えをひろげよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全で健康に過ごす 給食を楽しく食べる 時間割にそって動く 自分でしようとする 整理整頓をしようとする 先生や友達と協力して生活する きまりや約束を守る 自分のふるまいを振り返り行動する 自分の気持ちを調整して過ごす その場に合ったあいさつをする 自分の思いや考えを言葉で伝える 先生の状況や気持ちを考えながら、いろいろな人のかかわりを楽しむ 自然について理解を深め、生命あるものをいたわり、大切に 自信をもって表現し、意欲的に取り組む 学校生活や学習に興味や関心をもち、主体的にかかわる 問題を解決しようとする 学んだことを生活の中で活用する
<p>③主な活動</p>	<p>共通のイメージで 表現遊び等</p> <p>協力し合って 集団遊び、ごっこ遊び、 共同製作等</p> <p>調べたり、試したり、 確かめたり 様々なことへの興味、 関心、発見等</p> <p>目標をもつて 様々なことへの 意欲、挑戦等</p> <p>園生活の しめくくり 自信、期待、 見通しをもって等</p> <p>思いや考えを 出し合って ルールを決める、 折り合いをつける等</p> <p>自分の力を発揮して 役割を持った活動等</p>	<p>安心 一人でするようになったよ！ 安心を作る時間 （幼児期に親しんだ活動 や分かりやすい遊びやす い環境）</p> <p>成長 自分の持っている力を 発揮したり、自信や意欲 が生まれたりする （幼児期からの情を 生かす活動や環境）</p> <p>自立 夢や希望を持ち、 前向きに生活して いく （子ども主体の 学習活動）</p> <p>やりたいに チャレンジするぞ！</p>
<p>④配慮事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが表現しようとすることを支える 共感的なかわりでの自己肯定感を高める 夢中になることができる環境構成と教材を見直す 	<ul style="list-style-type: none"> 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、幼児の発達や学びの芽生えを把握する 生活科を中心とした総合的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定を行うなどの工夫をする 子どもが表現しようとすることを支える 共感的なかわりでの自己肯定感を高める 夢中になることができる環境構成と教材を見直す
<p>⑤保幼小連携計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観 ・ 保幼小連携担当者会 ・ 要録送付 ・ 卒業式、入学式に参加 ・ 情報交換 1年生との交流 ・ 他学年との交流 	<ul style="list-style-type: none"> 保幼小連携担当者会 ・ 要録確認 ・ 卒園式、入園式に参加 ・ 情報交換 保育参観 ・ 保幼との交流
<p>⑥家庭との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家族と一緒に過ごす時間を大切にしよう ・ その子らしさを大切にしよう 	<ul style="list-style-type: none"> 笑顔で学校に送り出そう 安全な登下校に配慮しよう 早寝・早起き・朝ごはん等を習慣付けよう

令和元・2年度 保幼小連携推進委員 「接続カリキュラムガイドライン」検討委員 名簿			令和元・2年度 事務局	
	所 属	氏 名		
小学校	佐世保市立白南風小学校校長	境 裕一	教育委員会 学校教育部 学校教育課	主幹 松田 美穂 (R元) 高島 秀雄 (R2)
	佐世保市立浅子小中学校長 (R元)	木原 健一		主査 藤原 謙司
	佐世保市立針尾小学校長 (R2)	尼崎 悦朗	子ども未来部 子ども育成課	次長兼課長 花野 嘉輝
	佐世保市立金比良小学校長 (R元)	高島 秀雄	幼児教育センター	所長 香田 尚美 (R元) 田中 祐子 (R2) (R元補佐)
	佐世保市立江迎小学校長 (R2)	藪 英彦		副所長 芥川 祐子
保育会	みなとこども園長	渡邊 さくら		補佐 立石 徳子 (R2)
	双葉幼児園長	前田 正人		主査 松尾 美紀
私立幼稚園	早岐幼稚園長	浦川 匠子		主査 三又 起代子
	桜の聖母幼稚園長	菅原 薫	主任主事 田中 穂子 (R元 12)	
公立保育所	佐世保市立上相浦保育所長	川口 恵子	(フルタイム会職) 篠原 佳子 (R2)	
公立幼稚園	佐世保市立白南風幼稚園長	麻生 晴美		

《参考資料・参考文献》

- ・幼稚園教育要領 文部科学省 平成 29 年 3 月
- ・保育所保育指針 厚生労働省 平成 29 年 3 月
- ・保育所保育指針の適用に際しての留意事項について
(子保発 0330 第 2 号 平成 30 年 3 月 30 日付)
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 内閣府・文部科学省・厚生労働省 平成 29 年 3 月
- ・小学校学習指導要領 文部科学省 平成 29 年 3 月
- ・スタートカリキュラム スタートブック
文部科学省・国立教育政策研究所・教育課程研究センター 平成 27 年 1 月
- ・発達や学びをつなぐスタートカリキュラム スタートカリキュラム導入・実践の手引き
文部科学省・国立教育政策研究所・教育課程研究センター 平成 30 年 3 月
- ・横浜版接続期カリキュラム平成 29 年度版 横浜市こども青少年局保育・教育人材課 平成 30 年 3 月
- ・これからの幼児教育 2019 秋号 ベネッセ教育総合研究所
- ・埼玉県「接続期プログラム」 埼玉県教育委員会 平成 24 年 3 月

《指導・助言》

- ・西南学院大学 教授 門田理世
- ・西南学院大学門田研究室 諫山裕美子 (久留米大学) 沖本悠生 (九州産業大学) 角田一枝

《写真提供》

- ・佐世保市立白南風小学校
- ・佐世保市立白南風幼稚園
- ・発達や学びをつなぐスタートカリキュラム スタートカリキュラム導入・実践の手引き
文部科学省・国立教育政策研究所・教育課程研究センター 平成 30 年 3 月



キラッと させぼっ子

保幼小連携
「接続カリキュラムガイドライン」
～保育所・幼稚園・認定こども園から小学校へ～



発行年月日
編集・発行



令和3年3月
佐世保市教育委員会・佐世保市子ども未来部
佐世保市幼児教育センター
佐世保市山祇町387番地
TEL 0956-31-0550
E-mail : youjik@city.sasebo.lg.jp

←幼児教育センターのHPは左の画像を読み込んでご覧ください

